

令和3年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座」開催要項

全国の各種図書館等で児童サービスに従事する図書館員等の幅広い知識の修得を目的として、児童文学連続講座を開催します。

1 テーマ

「今を生きるヤングアダルトへ」

2 形式

ウェブ会議サービス Cisco Webex Events により、講義動画をオンライン配信します。動画の配信開始の前日までに、講義資料を当館ホームページに掲載します。利用する PC、インターネット環境は、受講者が各自で御用意ください。また、Webex Events の実行環境についても各自で御確認ください。サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。なお、動画視聴による PC 環境等の不具合については責任を負いかねます。御了承ください。

3 配信期間

令和3年11月1日（月）から令和4年1月11日（火）まで

4 受講費

無料

5 内容及び講師

別紙のとおりですが、講座内容は、都合により変更になることがあります。

6 申込方法

ウェブサイト（<https://www.kodomo.go.jp/study/chair/index.html>）に掲載します。申込受付開始は令和3年11月1日（月）の予定です。

7 修了証書

修了証書の交付は行いません。

8 問い合わせ先

国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課協力係

TEL：03-3827-2053（開館日の9:30から17:00まで）

FAX：03-3827-2043

電子メール：kenshu★kodomo.go.jp（★を@（半角）にしてください。）

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

テーマ「今を生きるヤングアダルトへ」

令和元年度の連続講座「絵本からヤングアダルト文学まで—児童文学基礎講座」では 4 つの講義のうちの 1 つとしてヤングアダルト文学を取り上げました。令和 2 年度はこれを拡大し、「10 代に手渡す物語—ヤングアダルト文学総論」と題して連続講座を開催しました。そして、ヤングアダルト文学に光をあてた連続講座の最終年となる今年度は、「今を生きるヤングアダルトへ」というテーマのもと、若者が文学に親しむ意義を考えるとという大局的な視点から、具体的な作品の考察、作家と作品の関係、翻訳文学のあり方まで、幅広く扱います。講義 1 では教育哲学者の苫野一徳氏が若者と文学の出会いと読書法について、講義 2 では児童文学研究者の白井澄子が困難な現代社会を生きる若者の描かれ方について、講義 3 では作家のひこ・田中氏がヤングアダルト文学は何を描き出すのかについて、講義 4 では翻訳家の三辺律子氏が、日本が影響を受けてきた海外文学の翻訳のあり方について語ります。講義 5 では国際子ども図書館職員が実務に役立つレファレンスサービスを紹介します。講座全体を通して、今後の展望が見えてくることを願っています。

監修 白井 澄子（元・白百合女子大学人間総合学部教授、国立国会図書館客員調査員）

講義 1

「“ほんとう”の世界へ ～文学の魅力と、人生に役立つ読書法～」

苫野一徳（熊本大学准教授）

……誰もが文学を必要とするわけではありません。でも、文学との出会いは、私たちに、人は「ただ生きる」のではなく、何か“ほんとう”を求め、それに「憧れつつ生きる」ことの喜びを与えてくれます。本講義では、そんな文学の魅力に加え、文学に限らず、私たちの人生を豊かにしてくれる読書法についてお話ししたいと思います。

講義 2

「現代社会を生きぬく ～ヤングアダルト文学は何をどう映し出す？～」

白井澄子（元・白百合女子大学教授）

……若者は家族、友人、学校、地域など社会と関わって生きていますが、時に社会は心地よい関係だけでなく、無理解、対立、疎外感などの痛みを与えることもあります。本講義では、最近クローズアップされている若者の貧困や LGBT などの性的マイノリティといった問題にも触れながらヤングアダルト文学の意義について考えます。

講義 3

「ヤングアダルト文学の後先」

ひこ・田中（作家）

……ヤングアダルト文学は子ども時代の要請により登場してきました。書き手にとって、それは書くフィールドが広がったことを意味します。そこでは何がどう描かれ、子どもの本はどのような変化を遂げたのでしょうか？ 読者にとってどのような意味があるのでしょうか？ 最後に、今後の展望までをお話しできればと思っています。

別紙

講義 4

「日本の翻訳ヤングアダルト文学の現在」

三辺律子（翻訳家）

……かつては翻訳大国と言われた日本ですが、年々海外文学の読者は少なくなっていると言われています。その中で、どのような海外ヤングアダルト文学が紹介されているか、また、その意義とはなにか。具体的な作品を紹介しつつ、探っていききたいと思います。

講義 5

「児童書に関するレファレンスサービス」

国立国会図書館国際子ども図書館職員

……国際子ども図書館のレファレンスで使用する国立国会図書館のデータベースの概要や国際子ども図書館のレファレンス事例をご紹介します。ご紹介する事例は各図書館および 18 歳以上の方から申し込まれた児童書に関するレファレンスの回答事例です。

別紙

講師略歴（五十音順）

三辺 律子（さんべ りつこ）

翻訳家。聖心女子大学英語英文学科卒業、白百合女子大学大学院児童文学学科修士課程修了。白百合女子大学、東京女子大等非常勤講師。海外文学を紹介するフリーペーパー『BOOKMARK』執筆・編集担当。

著書 『翻訳者による海外文学ブックガイド BOOKMARK』（共著、CCC メディアハウス、2019.）

論文 「『ゲド戦記』の変遷（特集 アーシュラ・K・ル＝グウィンの世界：1929-2018）」（『ユリイカ』50(6)、2018.）

翻訳書『龍のすむ家』シリーズ（竹書房、2003-2016.）、『ジャングル・ブック』（岩波書店、2015）、『ロビン・フッドの愉快な冒険』（光文社古典新訳文庫、2019）（『ダリウスは今日も生きづらい』（集英社、2020）等

白井 澄子（しらい すみこ）

青山学院大学文学部卒業、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）図書館情報学科修士課程修了。立教女学院短期大学助教授、白百合女子大学助教授等を経て、2021年3月まで白百合女子大学人間総合学部児童文化学科教授。主な研究分野は英語圏、特にカナダの児童文学。2014年から2016年まで日本イギリス児童文学学会会長。2019年4月から国立国会図書館国際子ども図書館客員調査員。

著書 『赤毛のアン』（シリーズもっと知りたい名作の世界；10）（ミネルヴァ書房、共著、2008.）、『英米児童文化55のキーワード』（世界文化シリーズ；別巻1）（ミネルヴァ書房、共著、2013.）等

論文 「ヤングアダルト文学のゆくえ—英米のYA文学を概観して（特集 YA（ヤングアダルト）文学）」（『白百合児童文化』17、2008.3所収）等

苫野 一徳（とまの ひとつく）

早稲田大学大学院教育学研究科修士課程・博士課程修了、博士（教育学）。早稲田大学教育学部助手、日本学術振興会特別研究員を経て熊本大学大学院教育学研究科・教育学部准教授。主な研究分野は教育学、教育哲学。

著書 『勉強するのは何のため？：僕らの「答え」の作り方』（日本評論社、2013.）、『はじめての哲学的思考（ちくまプリマー新書；276）』（筑摩書房、2017.）等

論文 「ウイズコロナのなかでの公教育の役割（特集 ウイズコロナ×保育・教育の多事争論；みえてきた保育・教育をめぐる問題）」（『発達』41、2020.）、「これからの教育メディアの本質的意義と役割：教育哲学の視点から（特集 多様化する子どもの学習環境と教育メディア；多様な視点でとらえる教育メディアへの提言）」（『放送メディア研究』12、2015.）等

ひこ・田中（ひこ たなか）

児童文学作家。1991年、『お引越し』で第1回椋鳩十児童文学賞を受賞。1997年、『ごめん』で第44回産経児童出版文化賞 JR 賞を、2017年『なりたて中学生 初級編・中級編・上級編』で第57回日本児童文学者協会賞を受賞。書評サイト「児童文学書評」を主宰。

著書 『お引越し』（福武書店、1990.）、『ごめん』（偕成社、1996.）、『なりたて中学生 初級編・中級編・上級編』（講談社、2015-2016.）、『ぼくは本を読んでいる。』（講談社、2019.）、『今すぐ読みたい！10代のためのYAブックガイド150!』（金原瑞人、ひこ・田中監修、ポプラ社、2015.）、『13歳からの絵本ガイドYAのための100冊』（金原瑞人、ひこ・田中監修、西村書店東京出版部、2018）等